

## 「教科に関する専門的事項」に対応する開設授業科目一覧（令和2年度）

※修正、変更がある場合はWeb 掲示等にて周知します。

### 人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
国   語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1 以上	1 以上	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	（人文学類開設） ◎日本語学概論-a, ◎日本語学概論-b, 日本語音韻論-a・-b, 日本語文法論-a・-b, 日本語史-a・-b, 日本語学演習 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, 日本語学講読 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 応用言語学講義 IV-a・-b, 応用言語学演習 IV-a・-b	
	国文学（国文学史を含む。）	1 以上	1 以上	国文学	（比較文化学類開設） ◎日本文学概論, 日本文学講読1～8, 日本文学演習1～8, 日本文学特講1・2	
				国文学史	（比較文化学類開設） ◎日本文学史	
	漢文学	1 以上	1 以上	漢文学	（人文学類開設） ◎漢文学概論	
書道（書写を中心とする。）	1 以上	—	書道（書写を中心とする。）	（共通科目開設） ◎芸術（書A・B・C）	1 科目選 択 必修 (中学のみ)	
合 計 (中学一種, 高校一種)	2 0	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
社     会	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(人文学類開設) ◎日本史概説 I-a・-b(2科目セツト), ◎日本史概説 II-a・-b(2科目セツト), 考古学概説-a・-b, 民俗学概説-a, 日本史特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b 考古学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 民俗学特講-a・-b,	下線2つから1つを選択必修
			外国史	(人文学類開設) ◎中国史概説-a・-b, ◎ヨーロッパ史概説-a・-b, ◎オリエント史概説-a・-b, 先史学概説-a・-b, 文化人類学概説-a・-b, 中国史特講 I-a・-b, II-a・-b, オリエント史特講 I-a・-b, II-a・-b, 先史学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・b, IV-a・-b, 文化人類学講義 I-a・-b, II-a・-b	
	地理学(地誌を含む。)	1 以上	地理学	(人文学類開設) ◎歴史地理学概説-a・-b, 歴史地理学研究法-a・-b	下線2科目から1科目選択必修
			地誌	(人文学類開設) ◎歴史地誌学-a ◎歴史地誌学-b	1科目選択必修
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論, ◎民事法概論, ◎政治学概論, ◎国際政治史, 民法総則, 刑法総論, 刑法各論, 憲法 I~III, 商法 I, 会社法 I・II, 国際紛争論, アメリカ外交史, 行政学, 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学 (国際総合学類開設) 国際法 I, 国際組織法	下線4科目から1科目選択必修
	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(人文学類開設) ◎人間社会と宗教 (社会学類開設) ◎社会学基礎論, ◎現代社会論, ◎現代経済史, ◎経済学基礎論	下線5科目から1科目選択必修
「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ◎哲学通論-a・-b, ◎倫理学通論-a・-b, ◎宗教学通論-a・-b, 東洋思想-a・-b, 哲学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 哲学史 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 倫理学特講 I-a・-b, II-a・-b, 倫理思想史 I-a・-b, II-a・-b, 宗教学-a・-b, 宗教哲学-a・-b, 比較思想論-a・-b, 東洋宗教思想史-a・-b, 西洋宗教思想史-a・-b	下線6科目から2科目選択必修	
合計 (中学一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内ものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内ものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

5. 区分「日本史」の民俗学概説-a を, 「人文学類開設の民俗学概説」を取得することによって代えられるものとする。
6. 区分「外国史」の
  - ①オリент史概説-a・-b を, 「人文学類開設の古代西アジア史概説-a・-b」を取得することによって代えられるものとする。
  - ②文化人類学概説-a・-b を, 「人文学類開設の文化人類学概説」を取得することによって代えられるものとする。
  - ③オリент史特講 I-a・-b 及び II-a・-b を, 「人文学類開設の古代西アジア史特講 I-a・-b 及び II-a・-b」を取得することによって代えられるものとする。
7. 区分「法律学, 政治学」の国際紛争論を, 「社会学類開設の国際安全保障論」を取得することによって代えられるものとする。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
地理 歴史	日本史	1以上	日本史	(人文学類開設) ◎日本史概説 I-a・-b(2科目セット), ◎日本史概説 II-a・-b(2科目セット), 考古学概説-a・-b, 民俗学概説-a, 日本史特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 考古学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 民俗学特講-a・-b,	下線2つから1つを選択必修
	外国史	1以上	外国史	(人文学類開設) ◎中国史概説-a・-b, ◎ヨーロッパ史概説-a・-b, ◎オリエント史概説-a・-b, 先史学概説-a・-b, 文化人類学概説-a, 中国史特講 I-a・-b, II-a・-b, オリエント史特講 I-a・-b, II-a・-b, 先史学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 文化人類学講義 I-a・-b, II-a・-b	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線4科目から1科目選択必修
	人文地理学及び 自然地理学	1以上	人文地理学	(人文学類開設) ◎歴史地理学概説-a・-b, 歴史地理学研究法-a・-b (地球学類開設) 人文地理学, 地球環境学B, 地理情報システムA・B	下線2科目から1科目選択必修
			自然地理学	(地球学類開設) ◎地球環境学A, ◎地形学, 地生態学, 海洋学	
地誌	1以上	地誌	(人文学類開設) ◎歴史地誌学-a・-b (地球学類開設) 地誌学	下線2科目から1科目選択必修	
合計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 3. 区分「日本史」の民俗学概説-aを, 「人文学類開設の民俗学概説」を取得することによって代えられるものとする。  
 4. 区分「外国史」の  
 ①オリエント史概説-a・-bを, 「人文学類開設の古代西アジア史概説-a・-b」を取得することによって代えられるものとする。  
 ②文化人類学概説-aを, 「人文学類開設の文化人類学概説」を取得することによって代えられるものとする。  
 ③オリエント史特講 I-a・-b及び II-a・-bを, 「人文学類開設の古代西アジア史特講 I-a・-b及び II-a・-b」を取得することによって代えられるものとする。  
 5. 区分「人文地理学」の  
 ①地球環境学Bを, 「地球学類開設の地球環境学2」を取得することによって代えられるものとする。  
 ②地理情報システムA・Bを, 「地球学類開設の地理情報システム(GIS)」を取得することによって代えられるものとする。  
 6. 区分「自然地理学」の地球環境学Aを, 「地球学類開設の地球環境学1」を取得することによって代えられるものとする。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎ <u>法学概論</u> , ◎ <u>民法概論</u> , 民法総則, 刑法総論, 刑法各論, 憲法 I ~ III, 商法 I, 会社法 I・II	下線2科目 から1科目 選択必修
			国際法	(国際総合学類開設) 国際法 I, 国際組織法	
			政治学	(社会学類開設) ◎ <u>政治学概論</u> , ◎ <u>国際政治史</u> , 行政学	下線2科目 から1科目 選択必修
			国際政治	(社会学類開設) 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学, 国際紛争論, アメリカ外交史	
民	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	1 以上	社会学	(人文学類開設) ◎人間社会と宗教	
			「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」
合計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」は, 区分「法学及び国際法」, 区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。  
 5. 区分「国際政治」の国際紛争論を, 「社会学類開設の国際安全保障論」を取得することによって代えられるものとする。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
英 語	英語学	1 以上	1 以上	英語学	(人文学類開設) ◎英語学概論-a・-b, 英語文法論・統語論(1)-a・-b, 英語文法論・統語論(2)-a・-b, 英語学演習(1)-a・-b, 英語学演習(2)-a・-b, 英語学演習(3)-a・-b, 英語学演習(4)-a・-b, 英語意味論・語用論(1)-a・-b, 英語意味論・語用論(2)-a・-b, 英語音韻論・形態論(1)-a・-b, 英語音韻論・形態論(2)-a・-b, 応用言語学講義 I-a・-b, 応用言語学演習 I-a・-b, 応用言語学演習 II-a・-b	下線2科目 から1科目選 択必修
	英語文学	1 以上	1 以上	英語文学	(比較文化学類開設) ◎英語圏文学論 I, ◎英語圏文学論 II, ◎英語圏文学論 III, 英語圏文学・文化研究 I~III	下線3科目 から1科目選 択必修
	英語コミュニケーション	1 以上	1 以上	英語コミュニ ケーション	(人文学類開設) ◎英語論文講読(1)-a・-b, ◎英語論文講読(2)-a・-b, ◎外書講読 I-a・-b, ◎外書講読 II-a・-b, 英語論文講読(3)-a・-b, 英語論文講読(4)-a・-b, 英語学論文演習-a・-b	下線8科目 から1科目選 択必修
	異文化理解	1 以上	1 以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎欧米文化論 V, ◎欧米文化論 VI, ◎欧米文化論 VII, ◎欧米文化論 VIII	下線4科目 から1科目選 択必修
合計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
国   語	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1以上	1以上	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	(日本語・日本文化学類開設) ◎現代日本語概論Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 日本語の音声・音韻, 日本語の音声・音韻演習, 日本語の文法Ⅰ～Ⅳ, 日本語の文法演習Ⅰ・Ⅱ, 日本語の語彙, 日本語の語彙演習, 日本語コーパス分析, 日本語コーパス分析演習, 日本語の談話, 日本語の談話演習, 日本語の語用論, 日本語の語用論演習, 日本語音韻史, 日本語文法史, 日本語方言論, 日本語動態論, 世界の言語と日本語, 日本語談話研究フィールド実習Ⅰ・Ⅱ, 日本語方言研究フィールド実習Ⅰ・Ⅱ	
	国文学(国文学史を含む。)	1以上	1以上	国文学	(比較文化学類開設) ◎日本文学概論, 日本文学講読1～8, 日本文学演習1～8, 日本文学特講1・2	
				国文学史	(比較文化学類開設) ◎日本文学史	
	漢文学	1以上	1以上	漢文学	(比較文化学類開設) ◎中国文学概論, ◎中国文学史, 中国文学講読Ⅰ・Ⅱ, 中国文学演習Ⅰ・Ⅱ	下線2科目から1科目選択必修
書道(書写を中心とする。)	1以上	—	書道(書写を中心とする。)	(共通科目開設) ◎芸術(書A・B・C)	1科目選択必修(中学のみ)	
合計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
社     会	日本史及び外国史	1以上	日本史	(比較文化学類開設) ◎日本研究概論Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 民俗学概論, 日本研究特論, 日本の生活と文化, 日本の宗教と文化, 日本の政治と社会, 民俗学研究Ⅰ・Ⅱ	
			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, ◎アジア研究概論, 文化人類学概論, 文化創造論概論, 先端文化学概論, 文化人類学研究Ⅰ・Ⅱ, 欧米文化論Ⅰ・Ⅱ・Ⅸ・Ⅹ	
	地理学(地誌を含む)	1以上	地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論 比較文化地理学Ⅱ (地球学類開設) ◎都市地理学, 交通地理学, 農村地理学(3科目 セット) ◎地球環境学A	下線3つから 1つ選択 必修
			地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 (比較文化学類開設) 地域地理学Ⅰ・Ⅱ (地球学類開設) 社会地域論, 観光地域論, 経済地域論	
	「法律学, 政治学」	1以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論, ◎民事法概論, 民法総則, 契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論, 物権, 担保物権, 親族・相続, 刑法総論, 刑法各論, 憲法Ⅰ～Ⅲ, 商法Ⅰ, 会社法Ⅰ・Ⅱ, 有価証券法基礎, 電子記録債権法(電子手形), 行政法, 刑事訴訟法, 民事訴訟法A・B, 比較憲法, 開発法学, ◎政治学概論, ◎国際政治史, 現代政治分析, 政治過程論, 行政学, 地方自治論, 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学, 国際紛争論, アメリカ外交史, 現代政治外交	下線2科目 から1科目 選択必修 及び二重下 線2科目から 1科目選択 必修
	「社会学, 経済学」	1以上	「社会学, 経済学」	(比較文化学類開設) ◎情報文化概論, コミュニケーション論, メディア・コミュニケーション論, 広告文化論, 映像文化論	
「哲学, 倫理学, 宗 教学」	1以上	「哲学, 倫 理学, 宗教 学」	(比較文化学類開設) ◎現代思想概論Ⅰ・Ⅱ, ◎比較宗教概論Ⅰ・Ⅱ, 文化創造論研究Ⅴ, 表象芸術論研究Ⅰ・Ⅱ, 先端文化学研究Ⅲ～Ⅵ, 記号文化論, 分析哲学, 現代倫理学, 哲学カフェ, 日本・東洋思想史研究Ⅰ・Ⅱ, 比較思想研究, 比較思想史研究, 比較宗教論Ⅲ～Ⅵ	下線2科目 から1科目 選択必修 及び二重下 線2科目から 1科目選択 必修	
合計 (中学一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する専門的事項の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 5. 区分「地理学」の地球環境学Aを, 「地球学類開設の地球環境学1」を取得することによって代えられるものとする。  
 6. 区分「法律学・政治学」の国際紛争論を, 「社会学類開設の国際安全保障論」を取得することによって代えられるものとする。



人文・文化学群 比較文化学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
地	日本史	1以上	日本史	(比較文化学類開設) ◎日本研究概論Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 民俗学概論, 日本研究特論, 日本の生活と文化, 日本の宗教と文化, 日本の政治と社会, 民俗学研究Ⅰ・Ⅱ	
	外国史	1以上	外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, ◎アジア研究概論, 文化人類学概論, 文化創造論概論, 先端文化学概論, 文化人類学研究Ⅰ・Ⅱ, 欧米文化論Ⅰ・Ⅱ・Ⅸ・Ⅹ	
理	人文地理学及び自然 地理学	1以上	人文地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論, 比較文化地理学Ⅱ (地球学類開設) ◎都市地理学, 交通地理学, 農村地理学(3科 目セット)	下線2つ から1つ を選択必 修
			自然地理学	(地球学類開設) ◎地球環境学A	
史	地誌	1以上	地誌	(地球学類開設) ◎地誌学, 社会地域論, 観光地域論, 経済地域論 (比較文化学類開設) 地域地理学Ⅰ・Ⅱ	
合計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 3. 区分「自然地理学」の地球環境学Aを, 「地球学類開設の地球環境学1」を取得することによって代えられるものとする。

人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎ <u>法学概論</u> ， ◎ <u>民法概論</u> ， 民法総則，契約， 事務管理・不当利得・不法行為， 債権総論，物権， 担保物権，親族・相続， 刑法総論，刑法各論， 憲法Ⅰ～Ⅲ，商法Ⅰ，会社法Ⅰ・Ⅱ， 有価証券法基礎， 電子記録債権法（電子手形）， 行政法，刑事訴訟法， 民事訴訟法A・B	下線2科目 から1科目 選択必修
			法律学（国際法を含む。）	(社会学類開設) 比較憲法， 開発法学	
			政治学	(社会学類開設) ◎ <u>政治学概論</u> ， ◎ <u>国際政治史</u> ， 現代政治分析，政治過程論， 行政学， 地方自治論	下線2科目 から1科目 選択必修
			国際政治	(社会学類開設) 比較政治学， アメリカの政治， 国際政治学， 国際紛争論， アメリカ外交史， 現代政治外交	
民	「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	社会学	(比較文化学類開設) ◎ <u>情報文化概論</u>	
			経済学（国際経済を含む。）	(比較文化学類開設) 広告文化論，映像文化論， コミュニケーション論， メディア・コミュニケーション論	
	「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	1 以上	「哲学，倫理学，宗教学」	(比較文化学類開設) ◎ <u>現代思想概論Ⅰ・Ⅱ</u> ， ◎ <u>比較宗教概論Ⅰ・Ⅱ</u> ， 文化創造論研究Ⅴ， 表象芸術論研究Ⅰ・Ⅱ， 先端文化学研究Ⅲ～Ⅵ，記号文化論， 分析哲学，現代倫理学，哲学カフェ， 日本・東洋思想史研究Ⅰ・Ⅱ， 比較思想研究，比較思想史研究， 比較宗教論Ⅲ～Ⅵ	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線2科目から1科目選択必修
合計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中，( )内ものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中，「」内ものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」は、区分「法律学及び法律学（国際法を含む。）」、区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。  
 5. 区分「国際政治」の国際紛争論を、「社会学類開設の国際安全保障論」を取得することによって代えられるものとする。

人文・文化学群 比較文化学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
英 語	英語学	1以上	1以上	英語学	(人文学類開設) ◎ <u>英語学概論</u> -a・-b, 英語文法論・統語論(1)-a・-b, 英語文法論・統語論(2)-a・-b, 英語学演習(1)-a・-b, 英語学演習(2)-a・-b, 英語学演習(3)-a・-b, 英語学演習(4)-a・-b, 英語意味論・語用論(1)-a・-b, 英語意味論・語用論(2)-a・-b, 英語音韻論・形態論(1)-a・-b, 英語音韻論・形態論(2)-a・-b, 応用言語学講義 I -a・-b, 応用言語学演習 I -a・-b, 応用言語学演習 II -a・-b	下線2科目 から1科目 選択必修
	英語文学	1以上	1以上	英語文学	(比較文化学類開設) ◎ <u>英語圏文学論 I</u> , ◎ <u>英語圏文学論 II</u> , ◎ <u>英語圏文学論 III</u> , 英語圏文学・文化研究 I~III	下線3科目 から1科目 選択必修
	英語コミュニケーション	1以上	1以上	英語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎ <u>英語論文講読(1)</u> -a・-b, ◎ <u>英語論文講読(2)</u> -a・-b, ◎ <u>外書講読 I</u> -a・-b, ◎ <u>外書講読 II</u> -a・-b, 英語論文講読(3)-a・-b, 英語論文講読(4)-a・-b, 英語学論文演習-a・-b	下線8科目 から1科目 選択必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎ <u>欧米文化論 V</u> , ◎ <u>欧米文化論 VI</u> , ◎ <u>欧米文化論 VII</u> , ◎ <u>欧米文化論 VIII</u>	下線4科目 から1科目 選択必修
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 日本語・日本文化学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
国 語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1 以上	1 以上	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	（日本語・日本文化学類開設） ◎現代日本語概論 I, ◎現代日本語概論 II, 日本語の音声・音韻, 日本語の音声・音韻演習, 日本語の文法 I, 日本語の文法 II, 日本語の文法 III, 日本語の文法 IV, 日本語の文法演習 I, 日本語の文法演習 II, 日本語の語彙, 日本語の語彙演習, 日本語コーパス分析, 日本語コーパス分析演習, 日本語の談話, 日本語の談話演習, 日本語の語用論, 日本語の語用論演習, 日本語音韻史, 日本語文法史, 日本語方言論, 日本語動態論, 世界の言語と日本語, 日本語談話研究フィールド実習 I, 日本語談話研究フィールド実習 II, 日本語方言研究フィールド実習 I, 日本語方言研究フィールド実習 II	
	国文学（国文学史を含む。）	1 以上	1 以上	国文学	（日本語・日本文化学類開設） ◎日本の文学概論, 日本文学とその特質演習 I, 日本文学とその特質演習 II, 日本文学と自然, 国語科教育と文学, 国語科教育と文学演習	
				国文学史	（日本語・日本文化学類開設） ◎日本文学の歴史	
	漢文学	1 以上	1 以上	漢文学	（日本語・日本文化学類開設） ◎中国文学と日本文学, ◎中国文学と日本文学演習 I	1 科目選択必修
	書道（書写を中心とする。）	1 以上	—	書道（書写を中心とする。）	（共通科目開設） ◎芸術（書 A・B・C）	1 科目選択必修（中学のみ）
合 計 (中学一種, 高校一種)	2 0	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

社会・国際学群 社会学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		高等学校				
公	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論, ◎民事法概論, 民法総則, 契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論, 物権, 担保物権, 親族・相続, 刑法総論, 刑法各論, 憲法Ⅰ～Ⅲ, 商法Ⅰ, 会社法Ⅰ・Ⅱ, 有価証券法基礎, 電子記録債権法（電子手形）, 行政法, 刑事訴訟法, 民事訴訟法A・B	下線2科目 から1科目 選択必修	
			法律学（国際法を含む。）	(社会学類開設) 比較憲法, 開発法学		
			政治学	(社会学類開設) ◎政治学概論, ◎国際政治史, 現代政治分析, 政治過程論, 行政学, 地方自治論		下線2科目 から1科目 選択必修
			国際政治	(社会学類開設) 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学, 国際紛争論, アメリカ外交史, 現代政治外交		
民	「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	社会学	(社会学類開設) ◎社会学基礎論, ◎現代社会論, 現代社会学の系譜, 都市社会学, 組織社会学, 知識社会学, 逸脱行動論—犯罪社会学Ⅰ, スポーツ文化論, 歴史社会学	下線2科目 から1科目 選択必修	
			経済学	(社会学類開設) ミクロ経済学, 日本経済史, ◎現代経済史, ◎経済学基礎論, 日本経済論, 経済思想史Ⅰ・Ⅱ, 経済数学		下線2科目 から1科目 選択必修
			経済学（国際経済を含む。）	(社会学類開設) 開発経済学, Economic History		
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ◎哲学通論-a・-b, ◎倫理学通論-a・-b, ◎宗教学通論-a・-b, 東洋思想-a・-b	下線6科目 から2科目 選択必修	
合 計 (高校一種)		20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」は、区分「法律学及び法律学（国際法を含む。）」、区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。  
 5. 「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」は、区分「社会学」,区分「経済学及び経済学（国際経済を含む。）」のいずれかを最低限修得すること。  
 6. 区分「国際政治」の国際紛争論を, 「社会学類開設の国際安全保障論」を取得することによって代えられるものとする。

社会・国際学群 国際総合学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
英	英語学	1以上	1以上	英語学	(人文学類開設) ◎ <u>英語学概論-a・-b</u> , 英語文法論・統語論(1) -a・-b, 英語文法論・統語論(2) -a・-b,	下線2科目から1科目選択必修
	英語文学	1以上	1以上	英語文学	(比較文化学類開設) ◎ <u>英語圏文学論Ⅰ～Ⅲ</u> , 英語圏文学・文化研究Ⅰ～Ⅲ	下線3科目から1科目選択必修
	英語コミュニケーション	1以上	1以上	英語コミュニケーション	(国際総合学類開設) ◎ <u>English Discussion Seminar (A)</u> , ◎ <u>English Discussion Seminar (B)</u> , ◎ <u>English Discussion Seminar (C)</u> , ◎ <u>English Discussion Seminar (D)</u> , English Debate	下線4科目から1科目選択必修
語	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(国際総合学類開設) ◎文化・開発論, 開発人類学, 国際文化論, 地域開発論, Social Anthropology (社会人類学)	
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。